

第14回 経営協議会 議事要録

日 時 平成18年 1 月26日(木) 15時00分～16時20分
場 所 事務局第1会議室
出席者 宮田亮平学長、太田和良幸理事、玉井賢二理事、
六角鬼丈美術学部長、川井 學音楽学部長、
石田義雄委員、佐々木正峰委員、中村胤夫委員、中西 満会計課長
監事：東條伸一郎監事、竹内雄也監事
欠席者 海老澤 敏委員、高階秀爾委員(委任状)、根本二郎委員(委任状)

議事に先立ち、宮田学長から就任の挨拶があった後、役員等の新体制、玉井委員の後任委員及び経営協議会委員について、紹介があった。

役員等：[委員] 太田和良幸理事(総務担当)(事務局長)、
玉井賢二理事(学長特命担当)
[陪席] 渡邊健二理事(教育担当)、田淵俊夫理事(研究担当)、
池田政治学長特命(社会連携、創立120周年記念事業担当)、
守山光三学長特命(国際交流、留学生担当)、
委員交代：中村胤夫委員(株式会社三越代表取締役会長)

議題

1. 国立大学法人東京芸術大学の中期目標を達成するための計画(中期計画)の変更の認可申請について

議長から標記のことについて提案があり、総務課参事役から資料に基づき「4 災害復旧に関する計画」は文部科学省から連絡があり、変更しないこととなった旨説明の後、承認された。

2. 人事院勧告(給与構造改革)への対応について

議長から標記のことについて提案があり、総務課長から資料等に基づき説明、太田和理事から人件費削減計画(報告事項6 行政改革の重要方針)及びこれに対応する給与構造改革の原案について説明の後、審議の結果、次の意見が出され、引き続き対応を検討することとなった。なお、計画の概要については、中期目標・中期計画に記載し、2月中旬までに変更手続が必要であるが、2月の経営協議会は開催しない予定であり、対応について大学に一任願いたい旨提案があり、審議の結果、了承された。

(主な意見)

- ・地域手当を勧告より支給率を下げる方法はあるが、個々人によって手当額に差異が生じるのは地域による本俸の調整という趣旨から問題がある。
- ・地域手当を5年間現状維持するとしても、5年後に支給率を上げることができるかどうか分からない。他大学の状況を見ながら慎重に対応したほうがよい。
- ・民間では、基本給は下げないで、ボーナスを減額して対応するのが一般的である。また、業務の見直しや短時間勤務などで人件費を抑制する方法を検討すべきではないか。
- ・財源がないので減らすことを大前提とする必要がある。一旦上げると下げにくくなる。
- ・給与を下げるのは困難なので、希望退職を募るなどの方法により人員を減らす方法もある。
- ・事務系職員については、有期雇用契約や派遣職員を活用する。研究者については希望退職を募る方法も検討したほうがよい。

報告及び連絡事項

1. 東京芸術大学顧問規則について
2. 学長特命規則、理事に関する規則及び理事室規則について
標記のことについて、宮田学長から資料に基づき報告があった。
3. 平成18年度概算要求内示について
標記のことについて、会計課長から資料に基づき報告があった。
4. 施設整備補助金の追加決定について
標記のことについて施設課長から次のとおり報告があった。
平成17年度補正予算
 - ・アスベスト対策関連経費 73,000千円
露出部分の撤去工事を行う。
 - ・耐震化対策経費 523,000千円
平成17年度から平成18年度にかけて音楽学部1・2号館の増改築工事を行う。
また、残った箇所については、平成19年度概算要求で要求する予定。
5. 平成17年度補正予算について
標記のことについて、会計課長から資料に基づき報告があった。
6. 行政改革の重要方針について
標記のことについては「議題2. 人事院勧告（給与構造改革）への対応について」で併せて説明された。
7. 東京芸術大学特定寄附者顕彰銘板取扱要項について
8. 藝大ルネッサンスと藝大フレンズの寄附金受入状況について
9. 平成17年度寄附金受入状況（10～12月受入承認分）について
10. 吉村順三建築展入館者数について
標記の4件については資料配付により報告した。
11. その他
特になし